

「情報公開文書」

研究課題名：

腹部超音波検診(健診) で認められた膵嚢胞性病変の事後管理に関する検討

研究責任者： 公益財団法人 宮城県対がん協会 検査課 手嶋紀子

1. 研究の対象

2018年4月1日から2022年3月31日

宮城県対がん協会において、がん・生活習慣病健診または職域検診の腹部超音波検査で膵嚢胞性病変を指摘された方々。

2. 研究目的・方法

腹部超音波検診において、膵がんのハイリスクであるといわれている膵嚢胞性病変の拾い上げは重要です。当協会のがん・生活習慣病健診または職域検診の腹部超音波検査で膵嚢胞性病変を指摘された方について予後調査を行い、事後管理が妥当かどうかを検討します。対象症例は協会の検診システムより抽出し、検診日、受診者番号、超音波所見、超音波判定、血液データを使用します。また、再検査、要精検該当者については協会の肝胆膵検査結果、紹介先医療機関からの結果を使用し調査します。

研究期間は倫理審査承認後～2025年3月31日までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：検診日、受診者番号、超音波所見、超音波判定、血液データ、医療機関からの検査結果

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて受診者さまもしくは受診者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも受診者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 宮城県対がん協会 検査課 022-263-1525(内線 590) 手嶋紀子